せいそう労働者

東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL（3237）9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
渡辺　歩

正規職員で直営体制の強化を！

23区・一組すべてで継続した新規採用を勝ち取り、良質な公共サービスとしての清掃事業を守ろう！

▶圧倒的な信任を得て新体制がスタート

わが組合は3月14日、連合会館にて第91回定期大会を開催しました。2021年度運動方針、規約・規程の一部改正など、すべての議事が満場一致で承認され、今後1年間の闘う体制を構築しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前回大会はわが組合結成以来、初の書面大会となりましたが、今回は緊急事態宣言中であることを踏まえ、出席者を制限したうえで時間も短縮、感染防止策を徹底しての開催となりました。

大会は議長団に北支部川内谷代議員、目黒支部直江代議員を選出し始まりました。主催者を代表して中里委員長の挨拶では、「コロナ禍の中、職務に奮闘する組合員への労い」「異例の2段階構えとなったが組織の総力をあげて闘った20年確定闘争」「新規採用獲得の必要性」「清掃事業の直営による運営の追求」「組織力と交渉力の強化」「良質な公共サービスとしての清掃事業の維持」等が強調されました。

今定期大会はコロナ禍、とりわけ緊急事態宣言中であることを踏まえ、感染防止の観点から来賓の出席は控えさせていただきました。しかし、えさき・岸両参議院議員を始めとし、各級推薦議員、友誼団体や労働組合から多くの連帯メッセージを頂きました。

一般経過報告は多田書記長から、会計監査報告は田嶋会計監事から、田口書記次長からは2019年度会計決算報告がありました。

続いて議事に移行し、第1号議案「2021年度運動方針（案）」を江森副委員長から提案。3名の代議員からの発言・答弁のあと、第2号議案「規約・規程の一部改正（案）」を田口書記次長から提案し、投票にて承認されました。

第3号議案「組合費について（案）」、第4号議案「各会計予算（案）」、第5号議案「特別中央執行委員の承認について」、第6号議案「統制委員の承認について」、第7号議案「中央委員・代理の承認について」を田口書記次長から提案され、すべての議事が満場一致で承認されました。

その後、中央選挙運営委員会から選挙報告がありました。事前の選挙で全役員の無投票当選が確認されていましたが、規約に則り、常任中央執行委員11名の信任投票を実施しました。結果は全員が圧倒的な信任を得て、新体制をスタートすることになりましたが、改めてわが組合の団結力を示すことができました。

若干の休憩を挟み、3本の決議文が渡辺常任・森田常任・倉貫常任から上程され採択。大会スローガンを全員で確認し、江森新委員長の力強い団結がんばろうで大会は成功裏に終了しました。

新たに確立された運動方針のもとで今後一年間を闘って行きます。賃金・労働条件の向上はもちろんのこと、組織の発展と運動の前進を目指し、全組合員一丸となって頑張っていきましょう。コロナ禍での大会開催となりましたが、参加された代議員の皆さまに関しては、多大なるご理解・ご協力に対し、執行部一同感謝申し上げます。

最後に、今大会を持って、組合員の労働条件の向上と組織強化に努めてこられた中里委員長と田口書記次長、倉貫常任が退任されました。長年にわたり、先頭にたってのご尽力に感謝を申し上げます。

（泉田　和明）

▲入口では、参加者の検温・消毒を徹底

▲密を極力さけるため、間隔も空けて着席

わが組合の綱領

一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第91回定期大会を開催

困難な状況を克服するため、組織の「総団結」を！

中央執行委員長就任にあたって

中央執行委員長　江森　秀稔

3月14日に開催された第91回定期大会において、中央執行委員長を仰せつかることとなりました。私自身、あらためて身の引き締まる想いです。また、大会開催に当たり各支部のみなさんの、ご理解に感謝申し上げます。

組合員のみなさんには、日頃より大変厳しい状況に置かれている中、本部の様々な取組にご理解・ご協力をいただいております。みなさんの声に耳を傾け、全体での議論のもと、東京清掃の民主的な運営に努めて参ります。みなさんからも、建設的なご意見を頂戴したいと思います。

今こそ組織の「総団結」を！

昨年来、拡大した新型コロナウイルス感染症は、様々なものを壊してしまいました。健康問題は言うまでもありませんが、経済・雇用問題はおろか人権問題にも及んでいます。その影響で、各職場においても今まで経験したことのないご苦労をされていると思います。一日も早い収束と、元の生活が取り戻せるよう願うばかりです。

このような状況の中、3月17日の民間春闘における集中回答日には、多くの民間大手の月例給の回答がありました。ベアは辛うじて継続されていますが、今後の動向は不透明です。しかし、昨年冬の一時金については軒並み一昨年実績を下回る大変厳しい回答が示され、この夏の一時金についても結果が懸念されています。このことは、当然、我われの賃金確定闘争にも影響するものと思われ、大変厳しい闘いを強いられることが想定されます。

事業執行においては、退職不補充方針が長く続き、様々な区で車付雇上に代表される委託や、清掃工場でも運転係等の委託化が進み、各職場において大変厳しい作業実態におかれてきました。しかし、2021年度については11区と一組で新規採用を勝ち取りました。区移管以降最も多い区・一組での採用となり採用者数も同様です。この間の各区・一組の取組が結実したものと言えるでしょう。

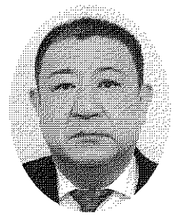
しかし、未だに区移管以降採用をしていない区があることも事実です。東京清掃全体の取組として、全区・一組における継続した新規採用を目指してまいります。

その他、わが組合に当面する課題は、多種多様化し、多岐にわたっています。一つひとつの課題に真摯に向き合ってまいります。厳しい状況が続きますが、困難な事態を克服していくために、今こそ組織の「総団結」をお願いし、就任にあたっての、挨拶に代えさせていただきます。

ともに、頑張りましょう！

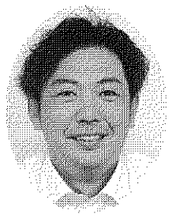
課題を克服し団結を強化

東京清掃労働組合本部新執行体制

■中央執行委員長

江森　秀稔
（玉川支部）

■副中央執行委員長

西村　好勝
（多摩川工場支部）

■副中央執行委員長

坂部　貴之
（練馬支部）

■書記長

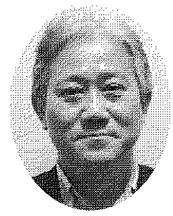
多田　修一郎
（江戸川支部）

■書記次長

渡辺　歩
（葛飾支部）

■常任中央執行委員

泉田　和明
（北支部）

■常任中央執行委員

栗澤　紀和
（杉並支部）

■常任中央執行委員

森田　裕二
（港支部）

■常任中央執行委員

高橋　正幸
（蒲田支部）

■常任中央執行委員

萩原　崇氏
（板橋西支部）

■常任中央執行委員

渡辺　一彦
（文京支部）

■千代田区選出執行委員

張替　一茂
（千代田支部）

■中央区選出執行委員

高島　稔
（中央支部）

■港区選出執行委員

神谷　拓宏
（港支部）

■新宿区選出執行委員

飯山　悟
（新宿支部）

■北区選出執行委員

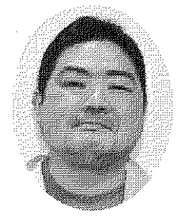
山﨑　竜也
（北支部）

■台東区選出執行委員

鈴川　信生
（台東支部）

■文京区選出執行委員

松澤　貴広
（文京支部）

■荒川区選出執行委員

恵良　伸介
（荒川支部）

■品川区選出執行委員

髙木　陽介
（品川支部）

■目黒区選出執行委員

直江　昭博
（目黒支部）

■渋谷区選出執行委員

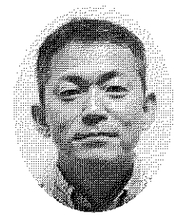
丸山　康夫
（渋谷支部）

■世田谷区選出執行委員

徳山　清治
（世田谷支部）

■中野区選出執行委員

西大條　剛
（中野支部）

■豊島区選出執行委員

林　真一
（豊島支部）

■練馬区選出執行委員

中村　義宣
（練馬支部）

■杉並区選出執行委員

松丸　洋平
（杉並支部）

■板橋区選出執行委員

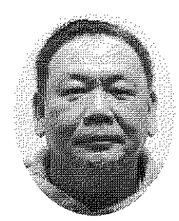
結城　貴行
（板橋西支部）

■足立区選出執行委員

青木　治雄
（足立支部）

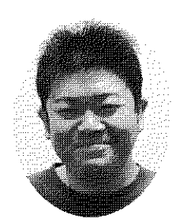
■葛飾区選出執行委員

水落　康治
（葛飾支部）

■江戸川区選出執行委員

金子　達也
（江戸川支部）

■江東区選出執行委員

木村　秀昭
（江東支部）

■墨田区選出執行委員

長妻　芳典
（墨田支部）

■青年部長

髙野　飛鳥
（中央支部）

○2021年度会計監事

田嶋　弘明（練馬支部）
渡邊　靖彦（墨田支部）
宮本　明彦（一組本庁支部）

○2021年度特別中央執行委員

染　裕之
（自治労東京都本部中央執行委員長）
中里　保夫
（都市清掃労働組合協議会議長）
桐田　達也
（東京平和運動センター事務局長）
髙野　飛鳥
（東京清掃青年部長）

《ひとこと》

▼新型コロナウイルス感染症の感染が再拡大に転じた中、一都三県の緊急事態宣言が解除された。解除を巡っての意見は様々あったが、そのどれもが一定の妥当性をもっていると思う。私自身、解除はやむなしと思っているが、正解だとも思えない。

▼感染者をゼロに抑え込まない限り、宣言を解除すれば感染者は増加する。感染拡大に転じた中での解除は、急激なリバウンドを引き起こすリスクがある。こうした観点からでは、今回の宣言解除は理屈にあっていないと言える。なぜ、2週間の再々延長だったのか。それはワクチン接種が広まるまでの、ただの「時間稼ぎ」だったのではないか。医療関係の逼迫を回避できるからだ。

▼宣言解除によって、感染者の増加は避けられそうもない。高齢者にワクチンが行き渡るとされる6月末までに感染爆発を起こさないことが重要だ。現に、独自で緊急事態を宣言した自治体もある。成否のカギは、政治や行政、医療機関、そして一番大事なのは国民一人ひとりの行動に尽きるのではないか。一日も早い収束で元の生活を願う。

（書記次長　渡辺　歩）